

# 東アジアの平和と和解

## —近代日本人のアジア認識と 平和の取り組みの可能性

講師 山本 俊正 (関西学院大学商学部教授・宗教主事)

今年、明治維新から150年になります。近代日本及び日本人のアジア認識は明治維新以降、アジアへの「侵略」と「連帯」を表裏一体とする思想として形成されてきました。またその認識は、アジアに対する日本人の差別意識の根底に横たわる基層を形成しました。今日、東アジアは、世界で最も高い経済成長を達成し、域内の経済は相互に強く結びついています。しかし、他方では、近代以来の歴史的経緯から深刻な分断が続いています。東アジアには冷戦状況が残り、相互信頼が非常に弱いのが特色です。戦後の日本における教会、NGO、市民社会の取り組みを振り返り、東アジアにおける平和と和解の実現のためのビジョンと可能性を模索したいと思います。

日時 2018年 5月12日 (土) 13:30～17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300 円、学生 1,000 円 (コーヒー込み)

\*要申込み\* 5月9日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込み下さい。



山本 俊正 やまもと としまさ

1952年、東京生まれ。立教大学法学部卒。米国・カリフォルニア州、バークレー太平洋神学校留学(1988年、神学修士)米国・合同メソジスト教会・カリフォルニア/パシフィック年会にて按手(正教師)。同教団・年会任命により、ハワイ州、ハリス合同メソジスト教会にて副牧師(1988～1992)。日本キリスト教協議会(NCC)国際協力担当幹事就任(1993年)、第35回NCC総会にて総幹事に選出される。(2003年)NCC総幹事を退任後(2008年)現職。

著書『アジア・エキュメニカル運動史』(単著・新教出版)、『東アジア平和共同体の構築と宗教の役割』(監修・佼成出版)、『東北アジア平和共同体の構築のための倫理的課題と実践方法』(監修・佼成出版)『東アジアの平和と和解』(編著・関西学院大学出版会)、『ミナト神戸の宗教とコミュニティー』(共著・神戸新聞総合出版センター)、『神との冒険—ラクーア自伝』(訳書・キリスト新聞社)、その他。

- ◎スケジュール◎
- 13:30～15:00 挨拶・講師紹介  
講演・発題
- 15:00～15:30 コーヒーブレイク
- 15:30～17:20 質疑とはなしあい
- 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



2018年度 修学院フォーラム これからの予定

「社会」 第1回 4月21日(土)

<宗教と戦争を考える5>

「新渡戸稲造の平和」

講師：佐藤 全弘（大阪市立大学名誉教授）

第3回 6月30日(土)

「民族主義と 普遍主義のはざままで：旧約聖書から国際平和を考える」

講師：月本 昭男（上智大学教授）

第4回 以降企画準備中

「いのち」 第1回 7月7日(土)

<老いの目をいかに生き、支えるか 第2回>

「高度先端医療時代における新たな死の文化」（仮）

講師：島田 宗洋（救世軍清瀬病院名誉院長）

第2回 以降企画準備中



「福祉」 企画準備中

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール [office@academy-kansai.org](mailto:office@academy-kansai.org)

所長 榎本 栄次

担当 都木かおり

【会場へのアクセス】



\* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

—————2018年度 修学院フォーラム「社会」第2回 参加申込書—————

(フリガナ)			
名前	所属		
住所〒			
電話 ( )	—	FAX ( )	— 携帯 ( )
電子メール:	@		
通信欄:			